

## 手術前・中・後（周術期）の留意点

《当院では、手術時、それが歯石除去であっても麻酔管理が最重要と考え、以下のような点を特に注意しています》

### 【◎手術前】

- ・絶食の確認
- ・身体一般検査：病歴の確認。検温、視診・触診・聴診による全身チェック
- ・血液検査
- ・必要に応じてレントゲン、エコー検査
- ・異常や問題があれば、飼い主様にご連絡、ご相談

### 【◎手術中】

モニター機器だけでなく、麻酔師が動物の状態、手術の進行状況など、随時変化を読み取り適宜対応することで麻酔のリスクを減らしています。

- ・体温管理：持続的に体温測定を行い、ヒートマット、輸液剤の加温などにより、全身麻酔時の体温低下のリスクを低減させています。
- ・呼吸管理：人工呼吸をしながら処置を行っています。
- ・心拍数と血圧の管理：このふたつは連動しているため、数値の上下変動について総合的に考え対処しています。  
低血圧は各組織のダメージにつながるため、特に注意しています。
- ・輸液管理：血管にチューブを入れ点滴をしながら麻酔を実施します。水分補給、血圧調整さらに緊急時の迅速な投薬処置なども可能となります。
- ・疼痛管理：手術前に痛みを和らげるお薬を投薬しています。これにより、麻酔投与量を減らすことができ、身体の負担を減らします。
- ・体位変換：循環血流が大きく変わるため、ゆっくりと慎重に行っています。
- ・粘膜および術部の色調：低血圧や低酸素状態、血流障害の指標になります。  
人と機器双方でチェックを行っています。眼軟膏を使用し目の乾燥による角膜の傷害や感染を防ぎます。

### 【◎手術後】

常にスタッフが動物を診ながら機器も併用し完全な覚醒を待ちます。

《以上のような麻酔管理をしながら手術を行っていますが、緊急時には、状況に応じて迅速に対応致します》



安田獣医科医院  
目黒区緑が丘 1-5-22  
TEL03-3717-6186